

平成23年度「東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業」実績報告書

1. 事業の概要

(1) 事業名(全角30字以内)

塩害による土壌汚染に対する植生回復技術と土壌改良技術の人材育成

(2) メニュー・分野

メニュー		分野
	1-① 産業界の高度化等において必要な専門人材育成のための人材育成コース試行導入等【短期】	
○	1-② 産業界の高度化等において必要な専門人材育成のための人材育成コース試行導入等【中長期】	⑦食・農業
	2 被災地においてニーズが高く供給が不足する分野の教育支援	
	3 専修学校等の就職支援体制の充実強化	—

「その他」分野名

(4) 事業実施期間

調査・準備期間:平成24年1月～3月 実証・開発機関:平成24年4月～平成25年3月

(5) 事業の概要

[中期的な人材育成コースの調査・準備]

東日本大震災において津波による影響を受けた土地は、現在、塩害や汚泥による土壌汚染が進み樹木や農地が荒れ果てている。早急に、汚染土壌改良の知識・技術を持った人材を育成する必要がある。環境保全や自然浄化システムを学ぶエコ・コミュニケーション科の学生を中心に、土壌改良・自然環境保全に対する技術を持った人材を育成する。又、それらの技術を利用して農業の再生、汚染土壌の回復、水質浄化を指導し復旧・回復を目指し、又、経済回復の指導的人員の指導・教育も合わせて行う。

2. 文部科学省との連絡担当者

省略

3. 事業内容の説明

(1) 事業の内容について(推進協議会における具体的な取組内容)

【中期的な人材育成コースの調査・準備】

自然災害による復旧・復興を担う「自然環境保全技術」を持った人材育成事業
陸前高田市を視察し、「高田松原」など広範囲にわたる被災状況を確認した。塩害による長期的な土地改良・自然環境保全を行うための実習地域を選定した。

平成24年度は姉妹校である名古屋コミュニケーションアート専門学校の屋上緑化実習や造園技術実習又は汚染土壌の浄化、汚染水質の浄化の成果をもとに仙台コミュニケーションアート専門学校においても屋上緑化を行い、土壌改良や資材開発試験、水耕栽培技術を学び、樹木や農作物、昆虫・両生類・水生生物など生態系を生かしたビオトープを作る。

また、今後は震災現地での塩害土壌の回復技術指導や農業指導なども行い、この知識・技術が習得できるカリキュラムを被災地での「食・農業分野」の人材育成事業に反映させ、全国の姉妹校の学生からも実習生を募り、東日本大震災からの復旧・復興支援を行っていく人材を育成する。

(2) 教育プログラム・教材の開発内容等

◆平成24年1月～3月

【調査・準備】

2月20日に今回の事業に必要な人材について講義を行い、2月21日に現地視察を兼ねて実習地の選定を行った。

またカリキュラムに関しては随時検討を行ないカリキュラム作成を行い3月22日にカリキュラムを決定した。

* 事業費消化に関しましては別紙「事業費消化について」をご確認ください。

◆平成24年4月～平成25年3月

「地球のお医者さん」プロジェクト【1年間コース】

講義・演習:「動植物についての基礎」「環境復元の基礎」「マネジメントの基礎」

「土壌の専門知識」「造園・緑化の専門知識」等を学ぶ。

実習:陸前高田市被災地支援活動「高田松原復元」「塩害農地回復実験」を

主に教育・指導行い、被災地において地元の方々と共に支援活動を行っていく。

(3) 実証講座等の内容

今年度事業は調査・準備の為、実証講座は行なっておりません。

(4) 事業実績について(地域の人材ニーズに対しての具体的な事業成果)

復元させる場所と具体的な緑化を行なう為の植生(松)の選定を行なった。その人材を育成する為のカリキュラムと内容も決まり、施工工事と植物の成長や季節に合わせた内容を当てはめる段階にきている。本格的な実施は平成24年4月以降。

(5) 成果の普及・平成24年度以降の事業展開(自校・他校・企業・団体・地域との関係)

平成24年1月～3月

【調査・準備】現地視察・実習地選定・カリキュラム作成・準備説明会

平成24年4月～平成25年3月 滋慶学園グループ(仙台コミュニケーションアート専門学校/北海道エコ・動物自然専門学校/名古屋コミュニケーションアート専門学校/東京コミュニケーションアート専門学校/大阪コミュニケーションアート専門学校/福岡エコ・コミュニケーション専門学校)/高田松原を守る会/株式会社 春水園/社団法人愛知県造園建設業協会名古屋支部による共同事業

4. 事業のスケジュール

	1月					2月					3月				
	初旬	上旬	中旬	下旬	末	初旬	上旬	中旬	下旬	末	初旬	上旬	中旬	下旬	末
協議会									2/20 ・21					3月 22日	
分科会									2/20 ・21			3月 13日		3月 22日	
調査									2/20 ・21						
調査・準備				調査・準備											

5. 事業実施体制

(1) 推進協議会の構成

組織名	代表者	役割等	都道府県
高田松原を守る会	小山 芳弘	副会長	岩手県
株式会社 春水園	大島 博陸	副会長	愛知県
社団法人愛知県造園建設業協会名古屋支部	菊池 栄司	ボランティア実行委員長	愛知県
名古屋コミュニケーションアート専門学校	森 正旭	教育顧問	愛知県
東京コミュニケーションアート専門学校	高山 清次	副校長	東京都
仙台コミュニケーションアート専門学校	栗栖 昭五	事務局長	宮城県
名古屋コミュニケーションアート専門学校	鈴木 孝志	事務局長	愛知県
北海道エコ・動物自然専門学校	切明 毅	事務局長	北海道
東京コミュニケーションアート専門学校	上野 准志	事務局長	東京都
大阪コミュニケーションアート専門学校	太田 彰	事務局長	大阪府
福岡エコ・コミュニケーション専門学校	三根 旭生良	事務局長	福岡県

(2) 分科会の構成(設置は任意)

組織名	代表者	役割等	都道府県
仙台コミュニケーションアート専門学校	岩田 幹夫	教務課長	宮城県
名古屋コミュニケーションアート専門学校	江口 仁詞	教務部長	愛知県
東京コミュニケーションアート専門学校	前田 英雄	教務部長	東京都
大阪コミュニケーションアート専門学校	粟津 邦彦	教務部長	大阪府
大阪コミュニケーションアート専門学校	関 智恵子	教務課長	大阪府
福岡エコ・コミュニケーション専門学校	小松 和弘	教務部長	福岡県

(3) 事業実施協力専修学校・企業・団体等

組織名	代表者	役割等	都道府県
高田松原を守る会	小山 芳弘	副会長	岩手県
株式会社 春水園	大島 博陸	副会長	愛知県
社団法人愛知県造園建設業協会名古屋支部	菊池 栄司	ボランティア実行委員長	愛知県
仙台コミュニケーションアート専門学校	栗栖 昭五	事務局長	宮城県
名古屋コミュニケーションアート専門学校	鈴木 孝志	事務局長	愛知県
北海道エコ・動物自然専門学校	切明 毅	事務局長	北海道
東京コミュニケーションアート専門学校	上野 准志	事務局長	東京都
大阪コミュニケーションアート専門学校	太田 彰	事務局長	大阪府
福岡エコ・コミュニケーション専門学校	三根 旭生良	事務局長	福岡県

(4)事業の推進体制(図示)

